

いせ多様PR支援プロジェクト

伊勢市への移住検討者の共感をより高め、関係人口の創出につなげると学びました。また、20歳前後の大学生といふ参加者の間でも、価値観がかなり異なることを実感しました。よりよい情報提供するには、さまざまな価値観の存在を知ることがヒントになります。



TEAM DATA	メンバー数	3名
実施場所	伊勢市	
実施主体	市民活動団体やまだみらいLab	
担当教員	千田 良仁（現代日本社会学部）	
活動年度	R02	

月別活動

(11月) ワークショップ

2回のワークショップという短い期間でアイデア出しを行い、新たなPRパンフレットの素案作りに繋げました。第1回は既存のパンフレットの「継続すること」「改善すること」「挑戦すること」という観点からアイデア出しを行い、TODOの優先順位の振り分けを行いました。第2回は架空の「伊勢市への移住を考えている人物」を創作し、「その人物がパンフレットに何を求めるか」を考えました。

本CLU活動は8月から活動を開始してまいりました。伊勢市中心市街地活性化協議会の移住創業促進会議では、毎月、伊勢市企画調整課、住宅政策課、都市計画課、伊勢商工会議所、伊勢まちづくり株式会社で、伊勢市への移住促進に向けた会議を行っております。これまで、移住者向けツアーやPRパンフレットの計画・実施を行ってまいりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、今年度は移住動画PR作成、移住PRパンフレット作成の事業に取組む形となりました。当パンフレット活動では、既存の移住PRパンフレットの改善に向けた意見集約に取り組みました。当パンフレットの課題は、移住に関する行政の情報を全て列举している点です。

1年の活動まとめ・考察（成果と課題）

2回のワークショップという短い期間でアイデア出しを行い、新たなPRパンフレットの素案作りに繋げました。第1回は既存のパンフレットの「継続すること」「改善すること」「挑戦すること」という観点からアイデア出しを行い、TODOの優先順位の振り分けを行いました。第2回は架空の「伊勢市への移住を考えている人物」を創作し、「その人物がパンフレットに何を求めるか」を考えました。

もう少し回数を重ねることができれば、第2回のアイデアを元に詳細なレイアウト案を考えることができます。



活動を通して学んだこと

移住というものにどれほどどのニーズがあるのか、ターゲットの年齢層はどうであるか、数々の都道府県の中で伊勢を選んでもらうにはどのようなPRが適切かなど、様々な観点からの分析が必要であると学びました。また、20歳前後の大学生といふ参加者の間でも、価値観がかなり異なることを実感しました。よりよい情報提供するには、さまざまな価値観の存在を知ることがヒントになると思いました。

実施主体からのコメント

市民活動団体やまだみらいLab 千島さん

本CLU活動は8月から活動を開始してまいりました。伊勢市中心市街地活性化協議会の移住創業促進会議では、毎月、伊勢市企画調整課、住宅政策課、都市計画課、伊勢商工会議所、伊勢まちづくり株式会社で、伊勢市への移住促進に向けた会議を行っております。これまで、移住者向けツアーやPRパンフレットの計画・実施を行ってまいりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、今年度は移住動画PR作成、移住PRパンフレット作成の事業に取組む形となりました。当パンフレット活動では、既存の移住PRパンフレットの改善に向けた意見集約に取り組みました。当パンフレットの課題は、移住に関する行政の情報を全て列挙している点です。

当CLU活動では、既存の移住PRパンフレットの改善に向けた意見交換も行われました。学生には社会人では気づかない難点がたくさんあり、これらの意見を取り入れ、新たなパンフレット作成に向け、取り組んで参ります。

一方で、今年度立ち上げたばかりのCLU活動であることやコロナ禍の状況から、当CLU活動に所属する学生が少なかったことが反省点です。今回のワークショップでも、筒井先生が取り組まれている「地域社会研究会」の学生にご協力頂きました。

withコロナの状況が続きますが、まだみらいLabは、伊勢市の移住政策に向けた支援を行つてまいります。次年度は、伊勢のまちに対する直接的な意見集約を行いたく、貴大学の学生に向けたアンケート事業企画、制作、分析を進めたいと考えており、そのための学生スタッフも当CLU活動で募集したいと考えております。大変な状況下ではございますが、引き続き、ご支援賜りますようお願い申し上げます。



担当教員より

現代日本社会学部 千田 良仁

住民目線、大学生目線から伊勢の魅力をワークショップ形式で掘り起こすことができるました。コロナの影響で予定通りの活動が出来なかつたと思いますが、今年度の活動で学んだことを後輩に引き継いで魅力を磨き上げる活動を継続してもらいたいと思います。

成果物／制作物